

In fact (cf. Wendelbo, *ibid.* 163), it is difficult to segregate the species around *T. linifolia* by dried specimens. But it is better to combine with *T. Wilsoniana* than with *T. linifolia* by the comparison of Hoog's original description (which has been compared with *T. linifolia*) in Gard. Chron. **32**: 50 (1902) and Botchsantsjeva's detailed description with figures in his "Tjulipani" 85—86, t. 16, f. 4-e (1962). Var. *afghanica* is distinguishable from the type by having thick violet anthers (yellow in type, pinkish in *T. linifolia*) and narrower leaves (as like as *T. Wilsoniana*). In spite of these characters look trivials they always appear on every *T. Wilsoniana* of the area.

適 要

アフガニスタン産の植物については我国では京都大学カラコルム・ヒンゾークシ探險隊の成果として北村四郎教授がフロラ(1960)を纏められ、それ以後も研究発表を行なっておられる。完全な調査が行なわれたわけではない。このため滞在中は可能なかぎり採集してまわった。欧米に較べて我国ではこの地域の植物研究の歴史浅く、標本や文献も比較参照するのに困難が多いが、解決できたものから発表してゆきたい。また解決できなくても問題点を提起して今後の研究の基としたい。カブールから 30 km ほど東の峡谷タンギ・アプレシュミにはえる *Eremurus solitalius* は雄大な白花で美しいが新種と考える。カブールからジュラバッドに向かう新道で峡谷に入り、一番目の橋を渡るまでには *E. stenophyllus* が群をなしてはえているが、この方は高さ 1m 以下、花は黄色で、橋を渡るとあまりみられない。それから先に数えるほど点々とはえている(種小名の由来)のが本種である。多肉質で標本を作るのに苦労した。P. Wendelbo が作った *Eremurus* の検索表では *E. spectabilis* (Sect. *Eremurus*) へ導けないと思う。ソ連邦植物誌 IV の図の方が私が採った標本に一致している。カブール近郊の早春を彩るのは *Tulipa Wilsoniana* var. *afghanica* (新変種とした)である。アフガニスタン植物を研究した先覚者達が *T. linifolia* にあてていたもので、花色はほとんど純白から鮮紅まで変北にとんでいる。遅咲(4月中旬までみられる)の花茎は長く伸びて普通の栽培 Tulip に似てみえる。この種類を研究する際に久内清孝先生は最返入手された Еюанцева: Тюдьданы を充分利用させて下さったので大いに参考になった。お礼を申上げる。

□ **AIBS Bulletin** AIBS (American Institute of Biological Science) 発行の表記の雑誌は今までアメリカの生物学関係の学会に入会している者には大抵配布されていたが、1964 年度からは AIBS 独自の会員制をとり、Bio Science という名前で年 12 回発行される。一般会員は年 \$10.00 を送ればよい。従って、これからはアメリカの学会にはいっていても AIBS Bulletin は会費を送らないかぎりこないことになる。

(井 上 浩)